



石東中だより

平成29年度5月19日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長 堀井安伸

70年の節目を未来のために！！

校長 堀井安伸

70回目の開校記念日、5月1日。全校朝礼を行い、教員も生徒も一緒に本校の歴史と伝統を意識し、自分たちの学校に誇りと愛着心を持つ機会としました。とともに、校歌の一節「大いなる未来のぞみて」と「大いなる未来のために」にあるように70年の節目を生徒たちの輝く未来をつくり続ける年とし、これこそが、本校の伝統的な精神であることを、生徒たちと確認しました。



練馬区が板橋区から独立した年と同じ昭和22年に、開校し今に至ります。今年は、校長室に飾られている「校章のいわれ」と「校歌の詩と楽譜の原稿」の額を披露して、本校の歴史に触れました。また、これまで支えていただいているご近隣の皆様、地域の皆様、保護者の皆様方に感謝をする日であることも触れています。これからも本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

<ご理解いただけますようお願いいたします。>

伝統の一つである運動会を、6月3日（土）に開催いたします。多くの方のご参観をお待ちしています。昨年度から、本校の伝統として受け継いできた「男子の組み体操、女子のソーラン節」を取りやめて、「大縄飛び」に変更しています。これは、昨今の報道でも取り上げられているように、組み体操によって重傷を負わせてしまうという危険性が指摘されています。組み体操の種目によって、安全を確保するためには、十分な練習時間が必要になりますが、最近、授業時数確保の関係で十分な練習時間を設定できなくなっています。そこで、「どんなにすばらしいことでも無理をして生徒の一生を左右する結果になってはいけない」との思いで、男子の組み体操、女子のソーラン節に替えて、安全が確保でき各学級が「心をひとつに」して取り組める競技「大縄飛び」を実施することにしました。合唱コンクールと同様に、各学級が競い合うことで築かれる「学級での絆」を目的としています。そして、本校の新たな伝統となることを期待しています。今年も、見るものを感動させる運動会をつくり上げ、70年の節目に、あらたな伝統を築いていこうと生徒たちは日々努力しています。どうかご理解いただけますようお願いいたします。



本校の学校経営計画をご紹介します。尚、紙面の都合上「本年度の重点目標」のみとさせていただきます。全文は本校のホームページをご覧ください。

本年度の重点目標（短期経営目標）H29 <目標実現に向けた取り組み>

①人権教育の充実

項目	結果目標	行動目標
いのちを大切にす る心の育成	<ul style="list-style-type: none"> いのちの大切さについての理解度を100%にする。 いじめ発生率を減少させ早期解決により被害「0」にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの授業」を全校生徒対象に年1回以上実施する。 話し合い活動で全生徒に自覚をさせる。教師の発見、対応を早期に行う工夫。
道徳的心情の育成	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業の充実度を80%以上にする 人間関係力と集団の向上度80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の完全実施と授業内容の充実を図るための校内研修を年2回実施。 全校でQ-Uアンケートの実施と、ソーシャルスキルトレーニング等の活用。

②学力向上を図るための授業力向上

項目	結果目標	行動目標
授業力の向上 (教科・道徳・総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学習する意欲が高まったと実感できた生徒を70%以上にする。</u> ・ 授業評価項目「わかりやすい」を90%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育の課題改善カリキュラムの実践と生徒に結果目標を具体的に持たせ自身の課題への取組をさせる。 ・ 7月と12月に生徒による授業評価を行う。9月に授業改善推進プラン完成。
アクティブラーニングの定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学び合い活動」の充実度を70%以上にする。 ・ <u>宿題の提出率を90%以上にする。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内推進担当の助言等を活用し、各教科で計画的に指導法の適切な改善を図る。 ・ 補習・日々の宿題の工夫等と未提出者へのケアによる学習習慣の定着。

③主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実

項目	結果目標	行動目標
達成感の体験を通じた自己肯定感の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各行事や部活動の充実度、及び感動度を90%以上にする ・ 交流活動・職場体験等の充実度80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各行事の計画、立案において内容の精選と工夫を図り各学年の指導を充実させる ・ 体験活動の企画立案において充実度の向上を意識し、確実に実施。
自己実現の意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢や目標の実現を目指そうとする生徒を80%以上にする ・ 社会や集団への貢献度感を80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育による進路指導を充実させ、生徒自身のPDCAサイクルを育成。 ・ 地域行事ボランティア等の社会貢献的な活動への参加を推奨。
主体性と言語表現能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全生徒が年間3冊以上の読書を達成させる ・ 生徒会活動を主体的に行ったと感じた生徒を80%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝の石東タイムの実施と図書室の充実。毎月の明確な啓発活動を実施。 ・ 総会・選挙・生徒朝礼・専門委員会等の活動内容を精査し負担を軽減しながらも工夫を図る。

④豊かな人間性を育む生活指導

項目	結果目標	行動目標
生活習慣の定着と社会性の修得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あいいうえお」の実践の達成感を80%以上にする ・ 社会や学校のルールを遵守した生徒を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活指導部、生徒会の取り組みを中心に全校体制で粘り強く啓発していく。 ・ 主体的に自身の生活を管理・向上させるために生徒会や学級活動を充実。
人間力の育成と健康・食育に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「早寝早起き朝ご飯」の定着度を70%以上にする ・ 自身の健康・食育への関心度を90%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校だより、給食だより、朝礼講話、生徒会活動等で啓発。 ・ 徹底して啓発活動の工夫を実践。学活等でそれを活用した指導を実施。

ご意見をお寄せください。03-3996-2158 (校長室)

ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tyky.ed.jp/>